２０１２年度　公益社団法人　乙訓青年会議所　委員長方針

公益財政委員会　委員長　川口　順也

乙訓青年会議所は国の公益法人制度改革を受け、社団法人から新たに公益社団法人に移行致しました。今年度は乙訓青年会議所としては３３年目となりますが、公益社団法人としては実質的に初年度となります。先輩諸兄が綿々と紡いでこられた青年会議所運動の理念は不変ですが、公益社団法人として今まで以上に地域から信頼される為にも公益性と透明性のある組織基盤を確立し、地域に開かれた学びの場としての事業を行う必要があります。地域の人々と手と手を携えて前向きに活動出来る団体が求められている中、私達のこれまでの軌跡は地域の負託と信頼を得るに相応しい活動を行って参りましたが、現状に満足する事無く一人ひとりが意識を高く持って己を磨き、より公益性の高い団体へと成長しなければなりません。そして永続する乙訓青年会議所にとっての今後の指針と成り得る為にも、今年度の活動を通じて業務を細分化して精査し、迅速に明確な基準を策定する事こそが青年会議所運動のより良い発展に繋がる組織進化であると考えます。

公益財政委員会では厳密な公益社団法人としての効果的・効率的な運営を目指し、透明性の高い会計基準に基づいた財務審査を行います。開催事業に対して財務の観点から適正に予算編成されているのか、また効果的に予算が使用されているのかを審査すると共に、明確な基準を設けて知的財産である肖像権や著作権に対する管理体制を確立し、法令を遵守しているのかを審査致します。また財務・コンプライアンスについての見解を打ち出し、一年を通じて得た情報を新たに加え、次代にとっての基準と成るべく財務マニュアルを作成し、会計制度を確立して参ります。対外的には地域に貢献できる団体として広報誌やホームページを用いて魅力ある青年会議所運動を紹介し、併せて乙訓地域の行政や諸団体の取り組みを地域の皆様に情報発信して参ります。また地域振興検討会を開催し、乙訓青年会議所の事業だけで無く他団体の事業活動を共に鑑み学びを得る機会を設け、相互理解を深めて地域での更なる繋がりを構築し、乙訓地域に必要不可欠な団体として存在意義の向上に努めます。組織進化を図る上で、何よりも理念を共有出来る同志を増やす必要があります。その為にも日々の会員拡大活動を心掛け、担いをされているＪＣ伝承委員会にも積極的に連携して参ります。また乙訓青年会議所の主たる公益事業であるまちづくり事業や青少年事業への協力を率先して行い、意欲的に活動して参ります。

最後になりますが、私自身はこれまでの活動を通じて先輩方に「楽しみながら活動しよう」とよく声を掛けて頂き、楽しむ心を持ちながら活動した事で多くの気づきや学びを得る事が出来ました。奇しくも今年度スローガンである「楽志伝承」に通じる言葉ですので、私自身が率先して常に楽しむ心を見出しながら前向きに行動し、一枚岩として委員会メンバーと共に一年間を邁進して参ります。